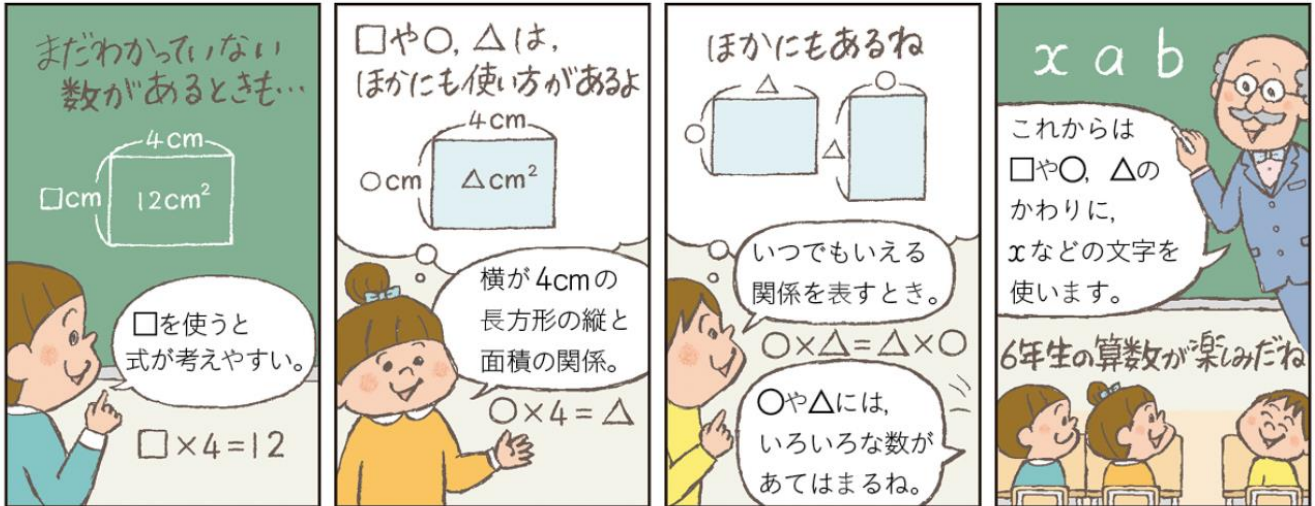


5月26日（火）の解答①

※P.18 は、教科書に直接書き込みましょう。

※P.19 は、ノートに式と答えを書きましょう。

● 文字を使った式についてふり返ってみよう。



1 同じケーキを3個買ったら、代金は810円でした。
 ケーキ1個の値段は何円でしょう。
 ケーキ1個の値段をx円として式に表し、答えを求めましょう。

場面や数量の関係を式に表すときに、□や○、△などの記号のかわりに x や a , b などの文字を使うことがあります。

ケーキ1個の値段を□円とすると、

□円の **3** 個分の代金が810円だから、

□円をx円とすると、

$$\begin{aligned} \square \times 3 &= 810 \\ \downarrow \\ x \times 3 &= 810 \\ x &= 810 \div 3 \\ &= 270 \end{aligned}$$

5月26日（火）の解答②

- 1 次の①から③を文字を使った式に表し，答えを求めましょう。

- ① 男子が x 人，女子が12人の学級の合計は30人です。
男子の人数は何人でしょうか。

式

$$\begin{aligned}x + 12 &= 30 \\x &= 30 - 12 \\x &= 18\end{aligned}$$

答え

18人

- 2 正三角形の1辺の長さが1cm，2cm，……と増えるときの，周りの長さを調べましょう。

- ① 1辺の長さを a cm，周りの長さを b cmとして， a と b の関係を式に表しましょう。

式

$$a \times 3 = b$$

- ② 1辺の長さが5cmのとき，
周りの長さは何cmでしょうか。

式

$$\begin{aligned}a = 5 \text{ のとき } \quad 5 \times 3 &= b \\b &= 15\end{aligned}$$

答え

15cm

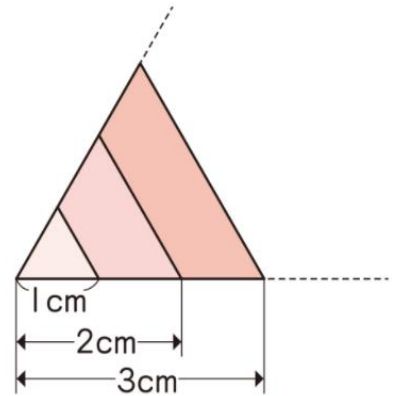
- ③ 周りの長さが24cmのとき，
1辺の長さは何cmでしょうか。

式

$$\begin{aligned}b = 24 \text{ のとき } \quad a \times 3 &= 24 \\a &= 24 \div 3 \\a &= 8\end{aligned}$$

答え

8cm



5月26日（火）の解答③

- 3 下の㉠から㉤の式の文字 a は、0でない同じ数を表しています。
答えが a より小さくなる式はどれでしょうか。
また、答えが a より大きくなる式はどれでしょうか。

㉠ $a \times 1.5$ ㉡ $a \times 0.5$ ㉢ $a \div 1.5$ ㉣ $a \div 0.5$

小さくなる式

答え

㉡, ㉢

大きくなる式

答え

㉠, ㉣

3 考えるヒント

具体的に数をあてはめて考えよう

- 下の㉠から㉣の式の答えは、10より大きくなるでしょうか、小さくなるでしょうか。

㉠ 10×1.5 ㉡ 10×0.5 ㉢ $10 \div 1.5$ ㉣ $10 \div 0.5$

10より大きくなる

答え

㉠, ㉣

10より小さくなる

答え

㉡, ㉢